

社会への扉

高校生(若年者)向け消費者教育教材

消費者庁 社会への扉

資料2-3

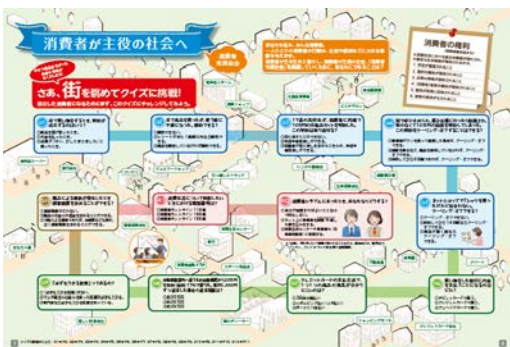
—12のクイズで学ぶ自立した消費者—



【目的】 成年年齢の引下げが議論されていることも踏まえ、高等学校段階までに、契約に関する基本的な考え方や契約に伴う責任を理解するとともに、身近な契約等を通じて、社会において消費者として主体的に判断し責任を持って行動できるような能力を育む。

P.1~2
導入

消費者が主役の社会へ



消費生活に関する12のクイズを掲載

高校生が普段暮らす街の風景を配して、契約や消費者トラブル等が身近な暮らしの中に存在することに気付かせる。

P. 3~11

契約について理解しよう！

キャッチセールスのイメージ



グループ学習にも活用できるワークを掲載

ワーク3 なぜ、法律では上のような取引に関してクーリング・オフ制度を定めているのだろうか。



高校生にも身近なインターネットショッピングの注意事項を具体的に掲載

お金について理解しよう！

「給料＝好きなように使えるお金」ではないことや、クレジットカードの仕組み、多重債務、将来の詐欺的投資被害を防ぐための注意について掲載。

暮らしの安全について理解しよう！

暮らしに潜む危険の例を紹介。安全に配慮した行動、再発防止のための行動がとれる消費者になることを促す。

消費生活センターについて知ろう！

消費生活センターの案内に加え、相談した後の解決までの流れについて、「高校生が消費生活センターに相談したら」という設定のマンガで紹介。

あなたの行動が社会を変える！

消費者トラブルにあった際に行動することが、消費者市民社会の実現につながることにについて、フローチャートを使って紹介。

生徒用教材

教師用解説書

生徒用教材に関わる学習指導要領の項目等を示す表

項目	大項目	中項目	小項目	必修	選択	発展	参考
公民科	(1) 社会の発展と市民生活の営み	消費者の権利	消費者の権利	○	○	○	○
		消費者の責任	消費者の責任	○	○	○	○
公民科	(2) 現代社会の発展と市民生活の営み	消費者の役割	消費者の役割	○	○	○	○
		消費者の権利	消費者の権利	○	○	○	○

消費者教育を実践している教師、弁護士、消費生活相談員から、消費者教育の必要性についてのメッセージ

育てよう！自立した消費者
～今、高等学校に求められる消費者教育～

- 生徒用教材各ページの解説
- 教師として知っておきたい若年者を取り巻く消費生活に関する情報
- 生徒用教材の「ワーク」「発展」、「プラスα問題」の考え方

公民科、家庭科の指導案例とワークシート例(ワークシート実物大はウェブサイト掲載)

項目	学習内容	指導上の留意事項
導入	消費者トラブルと契約について	ワークシートを配布し、ワークシートに記した契約に関する設問を考えさせ、各組で発表させる。 「消費者の権利」を配付し、ワークシートを配付させ、発表を聴かせながら、消費者が権利を行使する際の注意点を伝える。
	消費者トラブルの概要について	ワークシートに記した2つの事例から、消費者トラブルが身近な消費生活にあることを実感させ、その中で「消費者の権利」を行使する際の注意点を伝える。 「消費者の権利」を配付し、ワークシートを配付させ、発表を聴かせながら、消費者が権利を行使する際の注意点を伝える。
展開	消費者トラブルに対する対応について	消費者トラブルに対する対応についてワークシートを配付し、発表を聴かせながら、消費者が権利を行使する際の注意点を伝える。 「消費者の権利」を配付し、ワークシートを配付させ、発表を聴かせながら、消費者が権利を行使する際の注意点を伝える。
	消費生活センターの役割について	消費生活センターの役割についてワークシートを配付し、発表を聴かせながら、消費者が権利を行使する際の注意点を伝える。 「消費者の権利」を配付し、ワークシートを配付させ、発表を聴かせながら、消費者が権利を行使する際の注意点を伝える。